

# 春の叙勲・褒章・ 危険業務従事者叙勲



旭日単光章 【文化財保護功労】

ぬまじり まさあき  
沼尻 正昭氏（新戸）72歳

■小張松下流綱火保存会会長

沼尻氏は昭和40年に小張松下流綱火保存会会員となり、以後50年の永きにわたって重要無形民俗文化財「綱火」の継承、奉納に尽力されました。また、後継者育成のため、平成2年から小張子供綱火研究会を発足させ、現在も子どもたちに綱火の楽しさや、技術の伝承を行うなど、小張松下流綱火保存会役員として大きな功績をあげられています。

【受章者の声】このたび叙勲の栄誉を賜り、大変光栄に思っております。先輩方が残してくれた「綱火」という宝物を、次の世代に引き継いでいくため、今後も微力ながら、尽くしてまいります。



瑞宝小綬章 【厚生労働行政事務功労】

しもながよし まさる  
下永吉 優氏（谷井田）72歳

■元 中央労働委員会事務局総務課長

下永吉氏は、昭和39年に東京都保健部に、昭和48年からは労働省に採用されました。その後、茨城県商工労働部職業安定課長、職業訓練能力開発局管理課特別訓練対策室長、中央労働委員会事務局総務課長を歴任されるなど、国における労働行政の発展に寄与されました。

【受章者の声】このたびの叙勲に際し、図らずも拝受の栄に浴し、身の引き締まる思いでございます。この栄誉は私を指導していただきました職場の先輩、仲間、地域の皆さま方のお陰でございます。今後は健康に留意し、市勢の向上の一助になれるよう日々充実した生活に努めてまいります。



瑞宝単光章 【警察功労】

ぬまた ようすけ  
沼田 洋佑氏（谷井田）71歳

■元 警視庁警部補

沼田氏は、昭和45年に警視庁巡査を拝命され、昭和46年に田園調布警察署に配属。その後、築地警察署、麴町警察署などを経て、巢鴨警察署を最後に退職されるまで、36年の永きにわたり、住民の生命と地域の安全を守るため、その職責を全うされました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄誉を賜り大変光栄に感じております。これもひとえに職場における上司、先輩、同僚、後輩をはじめ家族や地域の皆さまのご指導、ご協力のおかげと心より感謝しております。今後は健康に留意し、日々を家族と大切に過ごしてまいりたいと考えております。



瑞宝小綬章 【北海道開発行政事務功労】

とももり ごうじ  
友森 剛二氏（絹の台）70歳

■元 北海道開発局営繕部長

友森氏は、昭和44年に建設省に入庁され、九州地方建設局建築課に配属。その後、筑波研究学園都市建設本部、国際協力事業団（マニラ）、関東地方建設局、会計検査院、北海道開発局に勤務されました。その間、公共建築物の設計や施工、監理、技術指導などに従事。平成9年に退職されるまで、永きにわたり国の建設行政に貢献されました。

【受章者の声】このたびは叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。在職時に筑波研究学園都市の建設に携わったことが、つくばみらい市に住むきっかけとなりました。これからは、残りの人生を楽しく生きていたいと思います。



瑞宝単光章 【消防功労】

おおやま じんいち  
大山 仁一氏（小張）65歳

■元 つくばみらい市消防団副団長

大山氏は、昭和59年に当時の伊奈村消防団に入団。以降、32年間の永きにわたり、地域住民の安心安全な暮らしを守るため尽力されました。一昨年の常総・鬼怒川豪雨災害の際は、現場で消防団各分団の指揮をとり、消防職員と協力して排水作業にあたるなど、昼夜を問わず奔走されました。

【受章者の声】叙勲の栄誉を賜り大変光栄に思っております。これも多くの関係者の皆さまのおかげと感謝しております。また、私を支えてくれた家族にも感謝しております。これからも感謝の気持ちを忘れず少しでも地域に貢献できればと思っております。